

宮城大学生との懇談会アンケート集計結果

【出身地】

宮城県（仙台市、塩竈市、利府町、女川町）	7名	
山形県（酒田市）	1名	
秋田県（湯沢市）	1名	
青森県（板柳町）	1名	
新潟県（新潟市）	1名	計11名（1名未提出）

【大学と町との関係】

○町に望むこと

- 1)通学に欠かせないバス時刻を授業の開始に合わせてもらおうと利用しやすい。
- 2)町の情報をもっと発信して欲しい。
- 3)自然、遊び場、見学スポット、大学近くの飲食店。
- 4)仙台、泉中央等と繋がる道が欲しい。
- 5)大和町民バスが大学まで巡回して来るが、本数が少ないこと、バス時刻が講義の時間と合わない。
それが改善されれば大和町へ遊びに行く人が増える。
- 6)交通の便、遊べる場所。
- 7)学んだことを町に還元したいと思えるような環境。
- 8)暮らしやすい、便利な町になること。1人暮らしでも、いつでも頼れる人が いること。家や大学
以外にも勉強できる場所があること。
- 9)交通の便が良い。
- 10)交通アクセスの改善。
- 11)交通の便を良くして欲しい。商店街などが盛り上がって欲しい。誇れるまちになって欲しい。

○自分が町に対してできること

- 1)空き家リノベーションをしながら、そこに暮らし、学生寮として利用すると言ったプロジェクト
が出来れば、学生にとっても建築の実践となり、空き家が減ることになると思う。
- 2)町のイベントの企画及び運営。
- 3)町のお店を利用する。今回のような行事に参加する。
- 4)SNS 等を利用してPR すること。
- 5)若者目線での意見発表。SNS などでの町の広報。
- 6)町の良さを伝えること。
- 7)学生ならではのフットワークの軽さとマンパワーを活かした活動。
- 8)このような懇談会を開いていただいた際に意見を出す。町の行事に参加する。
- 9)ボランティア活動。
- 10)広報を担当する。
- 11)ワークショップやイベントの手伝い。ワークショップに参加して町に対する意見の提案。

○「産官学連携」はどんなことをイメージしますか

- 1)大学のプロジェクトとの起業技術の連携
- 2)大規模なプロジェクトを進める。町全体でまちおこし及び活性化。
- 3)難しそう。今一、イメージが湧かない。できるだけ力になりたい。
- 4)無回答
- 5)民間企業と行政機関と大学の3つの媒体が連携して事業を行うこと。より地元のために役立つような、利益優先型ではない活動ができる。
- 6)大学生が産業と連携して商品をプロモーションするイメージ。官がサポートする。特産品を広める。
- 7)町は機会を与えて、問題を解決してもらおう。大学は知識や学生の力を還元して活動するフィールドを与えてもらう。
- 8)産業と地方公共団体、教育機関の3団体が連携して活動するイメージ。新たな事業の創出や新技術の研究をスムーズに進められそう。
- 9)大学と民間企業、政府が共に何かをするイメージがある。それぞれの視点があり、いつもなら出ないような意見が出そう。
- 10)地域の人々、行政、学生が連携すること。地域の実情を正確に捉えて、まちづくりに新たなアイデアを提供する。
- 11)「産」と「官」と「学」の中間領域にある新しい形が生まれそう。当事者の意見が行政に直ぐ届き、迅速な対応ができそう。

【将来のまちについて】

○「大和町にあったらいいな」と思う物は

- 1)川沿いの居心地の良い場所、銭湯、スーパー
- 2)鉄道、カフェ、飲食店、パン屋、スーパー、コンビニ、本屋、図書館
- 3)交通、自然が楽しめるスポット。
- 4)夜遅くまでのバス。景色がきれいなスポット。
- 5)無料駐輪場。カーシェアリングサービス。
- 6)泉中央までの町民バス。
- 7)リノベーション出来る空き家、もしくはそのチャンス。
- 8)電車、地下鉄、自然の中でくつろげる場所、友達や知り合い（コミュニティ）。
- 9)駅やカーシェアリング。
- 10)大型スーパー、電車の駅（仙台や他の市町村と結ぶ）。
- 11)強いコミュニティ、仲の良い隣人、スーパー、イオン、きれいな景観、レジャー施設、グランピング空間。

○その理由は

- 1)銭湯は人との繋がりが生まれる場所として、地域にあると、その土地に居る意味と愛着が湧いてくる。
- 2)鉄道は大和町には車でしか行けないから。カフェなどは、気軽に集まったり、お茶をしたりする場所が友達や知り合いを作ることができる。本屋及び図書館は、文教地区なのに全然ないから。
- 3)交通は行き来が便利になり、自然は楽しみたいから。

- 4)交通の便が悪いから。観光スポットがあれば人を呼び込めるから。
- 5)自分自身の交通手段は、自転車が一番利用する手段なので、無料の駐輪場があると行動範囲が広がる。カーシェアリングについては、大和町のような車がないと不便な土地において、車を買うことが難しい学生などにとって、新しい交通手段の獲得であり、前述と同様に行動範囲が広がる。
- 6)車を持っていないと、街中に行くのが大変。路線バスだと料金が高い。
- 7)大学で学んだことをそのフィールドで実践。
- 8)通学のためにバスよりも電車を使いたい。また、町から仙台の街中に行くための手段となるため、電車は欲しいと思った。また、大和町の魅力として大きな物に「自然」があると思うので、それを活かした何か欲しい。暮らす中で安心できるためのコミュニティも形成されたいと思う。
- 9)交通の便が不便であり、大和町を回る機会がないから。
- 10)車がない世代にとって、駅が町内にあるかどうかは重要となる。
- 11)現在、大和町にないから。人が集まるから。

○大切なランキング

- ・防災や犯罪に強いまち…………… 1位：6名、2位：1名、3位：1名、4位：0名、5位：3名
- ・遊べて買い物ができるまち…… 1位：1名、2位：2名、3位：1名、4位：2名、5位：5名
- ・図書館や美術館があるまち…… 1位：0名、2位：2名、3位：4名、4位：4名、5位：1名
- ・交通網が整備されているまち… 1位：4名、2位：5名、3位：2名、4位：0名、5位：0名
- ・自然を大切にすまち…………… 1位：0名、2位：1名、3位：3名、4位：5名、5位：2名

○「こんなまちがイイ」

- 1)定期的なマルシェが出来るような広場や通りがあると、人との交流がしやすくなる。大和町を盛り上げようと頑張る方々や何か楽しいことをしている人の姿がまちの風景として見えてくると、一体感が生まれ、活気に溢れた地域になる。
- 2)住みやすく暮らしやすいまち（生活に必要な物が揃って、尚且つ子育てがしやすいまち）
- 3)無回答
- 4)無回答
- 5)新規事業者が起業しやすくなるような条例の軟化、多様化。
- 6)無回答
- 7)強みを持つまち
- 8)一人で参加しても受け入れてくれる柔軟なコミュニティが複数あるまち、教育システムが整っているまち（学校、塾）、産業が廃れないまち、後継者育成がしっかりしているまち。
- 9)無回答
- 10)祭りが活発なまち。
- 11)イベントが多いまち

【総合的に】

○懇談会に参加して感じたこと

- 1) まちの魅力は既にそこにあって、それをどう表に、大和町に住む方が気付けるようになるかが大切だと気付きました。他にまちにも言えることですが、人の笑顔が何よりもその場所の魅力なので、そのゴールに向かい、様々な取り組みをしていくべきと改めて感じました。貴重な時間に参加させていただきありがとうございました。
- 2) 大和町の良いところ、もっと良くしたら良いところがたくさん出たような気がした。必要な施設などのハード面だけではなく、そこをどう運営、発信していくかと言うソフト面も大事であり、そのソフトの部分に住民と共に行っていけば良いと思う。大和町に深く関わることができて貴重な機会だったと思った。
- 3) まちづくり対して、また考える体験をすることができて良かった。
- 4) 普段話をする事のない議員の方と話をすることができて楽しかった。
- 5) 議員の方から大和町の実情を教えていただき、議論がより具体的な内容になった。少しでも役に立つ意見を出せたので良かった。
- 6) 県外出身なので、今回の懇談会を通じて大和町のことで知らなかったことをたくさん学ぶことができました。ありがとうございました。
- 7) こういった機会の積み重ねが今後の将来に生きていくのではないかと感じた。
- 8) 大和町について、深く考える機会となった。また、まちについて考え、より良くするための考え方を学ぶことができたことも良かった。
- 9) 大和町の方々が自分たちのような社会のことを理解していない人間の意見を否定することなく、受け入れていただいたので自分たちも意見を出しやすく、普段、考える事のない議論だったため、これからの自分の目線が広がった気がした。
- 10) 宮城大学に一番身近なまちについて、議員の方々とワールドカフェを通して学ぶことができ、まちづくりの重要性を知りました。
- 11) 毎年、このようなことをやっているだけあって進行がスムーズだなと思いました。ファシリテーターの方も的確にそれぞれの意見をまとめてくれて話しやすかったです。